

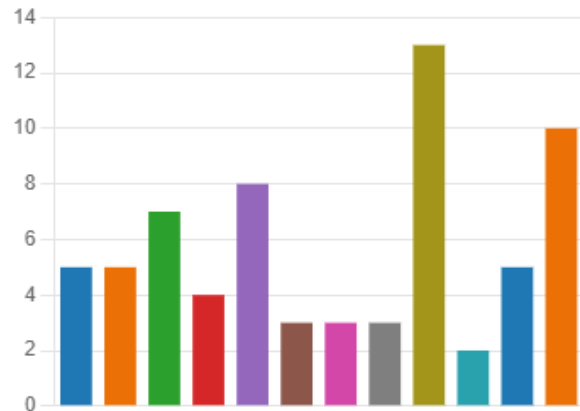
いじめアンケート調査（保護者用）集計結果

12月に実施した標題の調査結果をまとめたものです。

1. お子さんの学年と性別を選んでください。【必須】

[詳細](#)

1年男	5
1年女	5
2年男	7
2年女	4
3年男	8
3年女	3
4年男	3
4年女	3
5年男	13
5年女	2
6年男	5
6年女	10



3. 問1：あなたの子どもは、いじめを受けている（受けていた）。【必須】

[詳細](#)

あてはまる	7
あてはまらない	53
わからない	8



5. 問2：あなたの子どもは、いじめをしている（していた）。【必須】

[詳細](#)

あてはまる	3
あてはまらない	51
わからない	14



7. 問3：学校でいじめがあると聞いたことがある。【必須】

詳細

● あてはまる	14
● あてはまらない	28
● わからない	26



【集計結果から】

回答からは、概ねプラス回答であったことが分かる。ただし、少数ではあるものの、マイナス回答内には、問題を深刻に捉える意見が記述されていることを重く捉えなければならない。

【いじめに対する対応について】

いじめの未然防止教育

【自由記述より】

- ・悪いことを注意すれば恐ろしい言葉で脅したりする。謝ることを理解していない子どもがいる。
- ・相手の感情がコントロールできないままの行動が気になる。

いじめる心理から考える未然防止教育の取組

児童自身が自分の感情に気づき適切に表現することについて学んだり、自己理解や他者理解を促進したりする心理教育の視点を取り入れたいじめ防止の取組を行います。

課題早期発見対応

【自由記述より】

- ・何かあった時にはよく話を聞いてほしい。
- ・一人ひとりに深く親身に相談に乗って声を聞いてほしい。
- ・いじめがあったとしても無視することはないようにしてほしい。

調査・面談等の実施

日々の健康観察、いじめアンケートやすぐすぐチェック、さらには心と体の健康観察やQUテストの分析等を実施し、いじめの兆候を見逃さないようにして早期発見に努めます。

【自由記述より】

- ・暴力的な行為を確実に防いでほしい。

児童の安全確保

いじめの予兆に気付いた場合には、被害（被害の疑いのある）児童の安全確保を何よりも優先した迅速な対応を心がけます。

関係機関等との連携

【自由記述より】

- ・特定の児童が加害者となっており, 学校でも対応しているがなくなっていない。
- ・小学校1年生から同じことの繰り返してある。
- ・クラスで解決できない問題は, 校長・副校長・子どもや親を含めた話合いの場を設けてほしい。

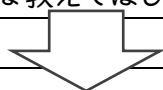


関係者の連携・協働によるいじめ対応

いじめに関する事象の発生を把握した際には, まずは校内で迅速に対応して, 必要に応じて地域の力を借り, 医療, 福祉等, 必要に応じて関係機関等と連携を図っていき対応します。

【自由記述より】

- ・ちょっとしたことでも, しっかり学校から連絡がほしい。
- ・自分の子どもが悪いところがあるのであれば教えてほしい。

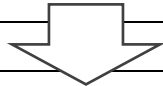


保護者との連携

些細な問題に対しても情報を共有するということを重視し, 保護者と協働で初期対応に関わっていきます。

【自由記述より】

- ・大人の目があり, 悪いことは見逃されないという意識をもたせることが大事である。アンテナを高く張ってきたい。



地域の人々との連携

PTA や学校運営協議会にも働きかけ, いじめの実態を発信しながら, 地域の力も借りての見守り強化に努めていきます。